

夕刊 日三十月五

常磐毎日新聞

定価 一部全五銭 五五銭 郵費五銭
 廣告料五銭 十二字一行 五五銭
 日曜 祭日の 翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社

両親に贈る言葉 (4)

上村 哲彌

思出話を讀むとゲーテの天分が優れて居たことは疑ひないとしても、その選ばれた天稟をいやが上にも豊かにしてやつたものは、彼女の優れた想像力と全く子供になり切つて子供の相手をするこの出来た純真無難な童心とにあつたことを御紹介致しませう。

妻は彼(即ち小さきゲーテ)が聞き飽きない限り話しをしてやるのに決してうみ疲れるといふことはなかつた。妻は水や、火や、天地や大氣などを美はしき王女として描き出しそして自然界の出来ごとの全てにそれらの意味を與へました。私自身はそれを私の聞き手達の誰れよりは一層絶對無條件に信じ切つてゐました。星と星との間に道があり、私達が何時かはその星の世界に住むといふことを假想し、そしてどんなに大きな精靈に星の世界で出會ふことが出来るかを私達が想像した時の如きは誰も私ほどの物語りの時間に熱心であつたものはない、そして

招待などの爲めにそれを邪魔されることを私ほど迷惑に感じたものはありませんでした。私の前には彼が大きな黒い眼を見つて食ふやうに私の物語にきゝ入つてゐます。そして物語の中の最良の人物が彼の胸に落ちないやうな不運に遭遇すると彼の顔に大きな痙攣筋がはつきりと浮出て、口惜しそつと涙を呑み込むのを見るのが出来ました。そして私の想像力が十分に働かない時には屢々彼がそれを補つてくれるのであります。

世のお母様方、子供の想像の世界は大切であります。記憶して下さい。それは成人の現實の世界以上に大切なものです。ゲーテの母のやうな優れた作家たることは、到底これを全べての母親に望む可くもありません。母親の口から聞く物語りは、その善し悪しや上手下手にかゝらず子供は何でも欣んできくものなりといふことは皆様よく御存知のところでは。何卒子供の爲めに努めて良い話を用意し、それを愉快に話してやることを忘れないで下さい。物語りに限らず何でも子供の空想の世界想像の世界を尊重しなければ

市原醫院

平町田町 (電一四番)
 内科 小兒科 市原卯太郎
 外科 梅毒・淋病 市原三三男
 入院隨時



壱屋洋品店
 平町田町通電話五六六番

内科 小兒科 花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

社員採用

固定給參拾圓外手當支給
 二十才以上五十五才迄
 希望者は履歴書持參本人來談

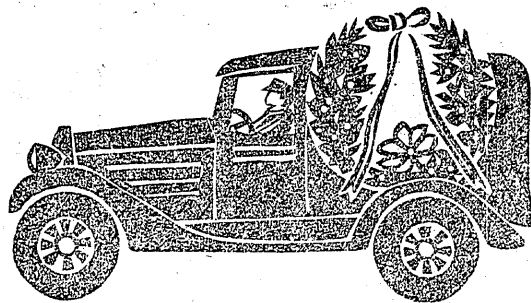
債社債券
 擔保附

日本商事株式平支部

平町鍛冶町十八

毎度有難うございます
 レストラン
平曾館
 電624

橋本屋 神佛具 造花店



番三六一電 町川新平

花の春!

春は麗か花盛り
 行きませう……
 花の野へ!! 山へ!!!
 カメラを持って
 皆んなで楽しく朗かに!!!
 そして記念の撮影を!
 暗室不要 國産カメラの代表品

東郷製マイコカメラ

MSカメラの新型も澤山入荷しました

トウゴロカメラ特約店 いづみや玩具店

平 驛 前

夜の景觀

公園に躑躅咲く

▽明日頃から
▽一齊に點燈

平町松ヶ岡の躑躅は最近の好天候に開花を急ぎ毎日散策の人で賑わつてゐるが夜の景觀を添える雪洞は愈々明十四日より一齋に點燈することになつたので晝夜を別たさ賑ひを呈するものと思はれる

十一、二の兩日高井教育課長臨席の下に磐女會議室に開かれ各校よりの提出議題を種に協議し終了後一同自動車に分乗白水阿彌陀堂を見學解散した

女子中等

校長協議

終つて白水へ
縣下女子中等學校長會は去

現地講習

好間村で行ふ

石城中堅農民講習會は来る十五日好間村で現地講習會を開き二毛作栽培と農事實行組合の視察を行ふ

海洋日本の

第一線に立つ

郡下の合格者氏名

過般福島市で執行の十一年度海軍志願兵検査に應募した郡下志願者中左記十八名は横須賀鎮守府で審査の結果見事合格海洋日本の第一線に立つことになつたが本月三十日平町に集合する濱三郡の合格者と共に卅一日午前七時三十分平驛發列車で勇躍各所屬隊に向ふ事になつた、郡下の採用者左の如くである

- 松武男 菅原廣 越川謙
- 治 青天日光 荒川敏男
- 金賀五郎 水野政二 鈴木建一 長谷川喜久 丹
- 義一 高萩昇 駒木根親
- 負 黒川春吉 佐久間定
- 雄 草野貞夫 猪狩哲二

電信競技

郡内驛員成績

既報去る十日水戸運輸事務所で行はれた同管郡内各驛

電信競技會に出席した平地方各驛員の成績左の如くである

- 九位 平 高橋長次郎
- 一〇 湯本 北條 義雄
- 一一 綴 大和田義明
- 一二 綴 山野邊長男
- 一三 綴 佐竹 喜吉
- 一四 植田 柳田 直彦
- 一五 平 若松 長次
- 一六 泉 高木 清八

久留島氏

平町で講演

童話界の老大家久留島武彦氏が双葉郡教育會の講演に赴く途中を好機とし平町の三小學校は廿九日兒童の爲め童話を乞ふ事となつたが終つて教員の修養會に招き歓迎茶話會を開くと

驛の貨物

發着共に増

平驛去月中の貨物は發送高九千六百八十九噸、到着が一萬七千二百五十九噸で昨年同期に比較すると發送が二千九百七十六噸、到着が三千八百八十八噸と何れも増加し収入額も昨年より千五百八十三圓七十八錢の黒字で既記の如く旅客の増收と共に同驛營業状態は非常な活氣を見せて居る

忠魂塔の

建立が遅延

既報小名濱在郷軍人分會が工費三千餘圓で建立を計畫した忠魂塔は工事を請負つた同町石工組人員の揃は

ぬ處から工事が捗らず横須賀鎮守府からも拂下げた砲身の引取り方を要求されて其處置に窮して居り竣工は全く見當がつかない

磐中保護者

職業別調査

磐中は過般來在校生千五百十名の保護者の職業別を調査中であつたが其結果は左の如くである

- 農業二七三名 水産業一
- 三名 鑛業二六名 工業

保護者會を分離

適否の検討を後日に譲る

總會は十五日

平町小學校保護者會は昨十二日午後一時より第二校作法室に評議員會を開き決算及び豫算を承認して協議に入り保護者の使命より出發しその目的をよりよく達成する爲には各校毎に分屬せしむべきであるとの分離説を擧げたがその適否の検討を後日に譲る事となり正副會長の改選に入り會長井上貞二郎、副會長大嶺庫の兩氏を再選、總會は来る十五日午後一時より第二校講堂に開くと決定、懇談を交はして散會した

平町小學校保護者會は昨十二日午後一時より第二校作法室に評議員會を開き決算及び豫算を承認して協議に入り保護者の使命より出發しその目的をよりよく達成する爲には各校毎に分屬せしむべきであるとの分離説を擧げたがその適否の検討を後日に譲る事となり正副會長の改選に入り會長井上貞二郎、副會長大嶺庫の兩氏を再選、總會は来る十五日午後一時より第二校講堂に開くと決定、懇談を交はして散會した

平町人事

- △三坂組は本十三日午前九時から役場内で優良納税組合の表彰式を行つた
- △三坂組は本十三日午前九時から役場内で優良納税組合の表彰式を行つた
- △三坂組は本十三日午前九時から役場内で優良納税組合の表彰式を行つた

収入役の打合

石城郡内町村収入役事務打合會

は本十三日午前十時から平町會議室に開いた

教務主任準備

平町三小學校の教務主任會は今

糸イラズ

此の間マネキンの實演を御覧になつて大体は皆様糸イラズの便利經濟なる事がわかりになりましたせう、御用の御方は左記販賣店にありませうから何卒御便宜の所で御求め下さい。

阿康藥局

- 平町田部 藥舖
- 平町一丁目 藥局
- 水野 藥局
- 平町鎌田 商店
- 好間村稻荷下 商店
- 阿康藥局支店
- 平町材木町 藥舖
- 平町新川 藥舖
- 平町清水 藥舖
- 平町仲間 藥舖
- 好間村元山 商店
- 好間村満壽 商店
- 平町古鍛冶町縣社の下
- 振替口座東京三〇〇五
- 電話 四四四番

春の

レンコート
春のオーバ
春のセビロ

御用命を!



平町 正札堂 洋服店 電話四三番

婦産人科専門

平町南町五二

根本醫院

電話三四番

(入院隨意 手術室完備)

暴力團狩り

平署徹底的に断行

良民の恐怖の的を根絶

本署は昨年第一次、第二次兩度に亘る暴力團狩り一時姿をひそめた街のダニ連が亦々姿を見せ始めて街頭にタカリや脅迫等を働き良民の恐怖が増して来たため近く本年度第一次の暴力團狩りを行ひ徹底的掃蕩を圖ることとなつた

先づ槍玉に

二名のヨタ者

▽……街頭で脅迫中を

別項近く行ふ暴力團狩りに備へて平署員が十二日夜平町南町を密行中、同町北堀り通りで素見客を掴へエンネンを付けタカリを働へてゐた同町大町一〇木村庄工門(九)立町九九槻重雄(三)の兩名を先づ槍玉に擧げたが今後引續いて徹底的なこの種ヨタモノの檢舉が行はれる見込である

第三春期遠足

三小學校は本十三日春期遠足の爲め各學年が左の方面に出發した
一年鎌田山 二年松ヶ岡公園 三年内郷村一ノ矢天皇社 四年平窪村大室山 五年神谷澤村神社 六年好間村上水道水源池

此の一戦を

記念としての催し

各學校非常時意識強調

平町各中等學校及び各小學校は来る二十七日の海軍記念日の當日校長の講演あつて後左の如き催しあり現下の非常時意識を強調すると

(平商)神谷村立神社前 往復一萬米マラソン(第一)陸上運動會(第二)小川村方面強行軍(第三)陸上運動會(警中並警女)講

団体行程

既報平署で目下募集中の佐渡ヶ島伊香保廻り団体は六月十六日午後九時三十分平驛を出發十九日歸平するが行程左の如である
(第一日)郡山、若松を經て午後五時新潟着市内見物、宿泊(第二日)新潟出

超ス。ピードで

横領金費消

百圓の拐帶少年

湯本町を徘徊中に捕る

させてゐる

(既報)主家の現金百餘圓を拐帶九日夜逃走行方を晦ました内郷村宇内町酒造業馬目太平次方雇人伊達郡湯野村生宇太郎三男楠弘(三)に就いて平署で捜査中昨十二日午後五時頃湯本町地内を徘徊する學動不審の少年を平署員が逮捕 取調べた結果前記拐帶犯人なること自白したが現金は僅かに三圓しか残つて居らずカフエー料理店等で超スピードで費消したこと判明係官を呆れ

明日のラジオ

今晩は南の風 曇り明日は南東の風 曇後雨

今晩の部

後六〇〇 偉人物語「江川太郎左右衛門」東京放送児童研究會
後六二五 基礎英語講座 鹽谷榮
後七三〇 講演と實驗「聴診器を何に聴かか」大阪帝國大學より中繼

明日の部

後八〇〇 チェロ獨奏
後八三〇 舞臺劇「荒神山」大阪浪花座中繼
後九三〇 時報 ニュース 番組預告

トラック暴れ込む

運転手は雲を霞と逃走

去月二十七日午後一時頃上小川村字臺三五萩野武雄方住宅にトラックを突入兩戸家具等を破壊した揚句家人が不在なのを奇貨として逃走した不逞な運転手あり豊間村鈴木房次郎方の者らしいと目下平署で捜査中

親子三人

路頭に迷ふ

平署が旅費を恵む

信夫郡余目村福地勇(三)妻シン(三)長男秋男は十二日午後三時半頃平署に出頭石城地方炭礦の好景氣を聞いて嫁ぎに來たが働さ口がないので着衣を脱ぎ金を作つて郷里に歸る途中と哀れな身上嘶し旅費若干を與へて歸郷させた

清風園同窓會

平町南町裏日本基督教會の清風幼稚園は来る十七日午後一

前六三〇 基礎フランス語講座 丸山順太郎

前七〇〇 一朝の修養「參同契」加藤咄堂
前一〇三〇 宗教講座「宗教は祈禱に在り」堀貞一
後一〇〇五 俚語とハーモニカ 山形縣石井嘉七他
後二〇〇 小學生尋問の時間對話「花と虫」森の宮子供會
後二四〇 小學生尋問の時間理科對話劇「つばめ」東京科學コードモ會
後六〇〇 偉人物語「江

川太郎工衛門一東京放送児童研究會

後六二五 「司法權の運用と法律家」職責」乾政彦
後七三〇 講演「輕合金の進歩と航空機の發達」田邊友次郎
後八〇〇 謠曲「葵上觀世喜之助
後八三〇 浪花節「天保旅日記伊香保土産」雲井雷太郎
後九〇〇 作曲祭 日比谷公會堂より中繼

平職業紹介所報告

- 回 人を求める方
△撤水夫 廿二才迄
△給料七才迄
△粕人夫 二〇才迄
△給料十一才迄
△農夫 四十才迄 給十五圓
△農夫 二〇才迄 給十五圓
△給料十五圓
△粕人夫 卅才迄 給十圓
△精米夫 廿五才迄 給六圓
△採炭夫 四十才迄 日給一圓
- 回 職を求める方
△事務員 十九才 中卒
△トラック助手 廿四才 高卒
△土工夫 卅一才
△鐵工 廿二才 高卒

建設分割寄附

過般來全校児童及び職員より募集中であつた平第一校の關仰井嶽藥師堂再建費と夏井村忠魂碑建設費の寄附金は本日迄に十五圓九十五錢に達したので再建築費へ十圓五錢、忠魂碑へ二圓九十錢と各々分割寄附した

裁判所だより

△内郷村大字宮字宮澤二炭坑運搬夫野崎嘉雄(三)は去る三月四日高坂電車停留所附近路上で同僚大谷金松と

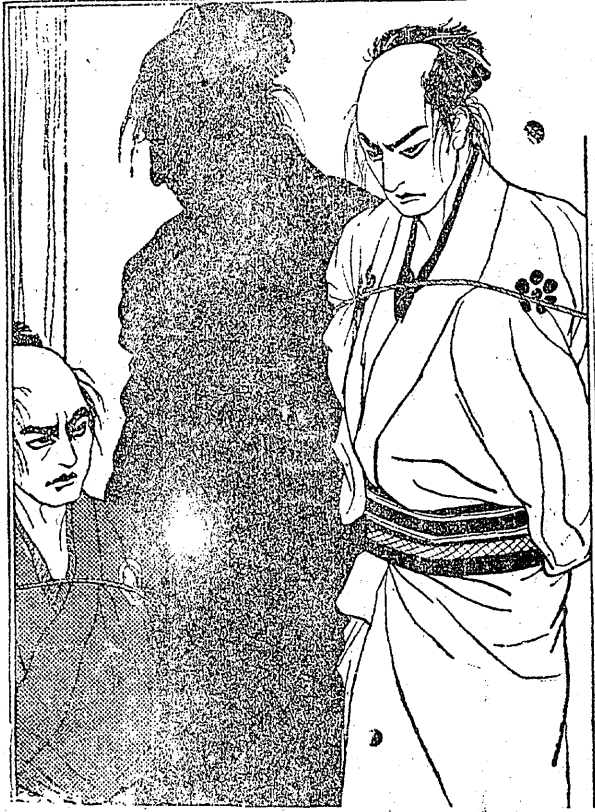


（雑誌上）
続る解瓦解の設人
 悟道軒圓玉（作）
 丸尾至陽（書）

一一九 青木送らる
 青木彌太郎は與力と同心
 にむかひ

彌「貴様たちの手先のものが
 身分ある俺にむかひ御用で
 あるの、神妙にしろなどと
 申して、當時俺の下宿西東
 三のもとに踏み込み晝寝の
 夢をおみ破つたが、聞けば
 貴様たちの指圖にて出張し
 たとのこと、その御用筋を
 承るためにこれまで俺は出
 て来た、一体何で俺に繩を
 うたむとしたか、それを申
 せ」

となじられて
 與「手前は北町奉行池田播
 磨守の手付にございます、
 實は手前どもがあなたのお
 在なるところへ出張いた
 すことになつて居りました
 が手先共が御無禮をいたし
 ました段手前どもよりお詫
 をいたします。お頭よりの
 御下知でございます故甚だ
 御迷惑なこと、は存じます
 が、役所までお出でくださ
 るやう吾々共はお頭よりの
 命令を守りましてあなたを
 召捕らむためにそのおゐで
 なさるところを諸所たづね
 ました、やうやお當所にお
 ゐでなることを知りま
 して出張いたしました」



丁寧に申した、青木はこ
 れを聞いて
 彌「貴様の申したお頭とは
 町奉行のどなた、俺は町奉
 行の支配下に居るものでは
 ないぞ、瘦せても枯れても
 天下の旗本だ、それを町人
 を支配いたす町奉行に捕へ
 る、貴様たちは俺を縛つ

られる理由はないぞ、俺の
 支配頭は高力丹波守だその
 高力のころへ引きわたすの
 もりか、但しはたゞちに町
 奉行におくるか、町奉行に
 おくるとあれば俺にも考へ
 がある、さア何方に送るん
 だはつきりこたへろ」
 弥「もう何もねえぞ、よく
 見ておけ」
 與「疑念はございませぬ」

て職務を果すが宜い」
 與「それは有難いことにご
 ざいます」
 彌「まづ所持品を渡すぞ」
 とふところから紙入れを
 出した短刀を出し、帯を
 といて衣類をぬぎバタ／＼
 とそれを振り
 彌「もう何もねえぞ、よく
 見ておけ」
 與「疑念はございませぬ」

と與力が答へた、こゝで
 彌太郎は衣類を着てうしろ
 をふりむくと西東三はそれ
 に居る
 彌「西、おれはこれから支
 配頭におくられる、貴公は
 新徴組の屯所におくられる
 であらうが當分は會ふこと
 もなるまい、随分達者です
 ござせ」
 西「そのもとも無事にて」
 彌「ヤ俺は無事では出て
 來られぬが神は善人を助
 けるといふからな」
 これを聞いて與力と同心
 は苦笑した
 彌「では出かけやうかな」
 ○「たゞ今乗物の
 仕度をいたしま
 す」
 彌「ウム駕でおく
 るか、吉原へとぶ
 駕とはことなり今
 乗つて行く駕はう
 れしくねえな」
 ○「ついではお聞
 き申しますがお腰
 のものは」
 彌「西のもとにお
 いて来た」
 ○「ア、左様でござ
 いますか」

彌「貴様たちを相手にする
 に大小不用だ、短刀一口
 あれば十人や廿人は斬り倒
 すことも出来るでなア」
 役人はこの強膽におどろ
 いた、その内に乗物の支度
 が出来た、彌太郎を縛つて
 これに乗せる、駕は谷中を
 あとにして下町をさして急
 ぐ。

廣 告

美味！
 芳醇！
宗正らひた

山崎合名會社
 電話一〇番
安齊外科醫院
 平町・田町
 電話四七五番

診 夜
胃腸性病性
 内 科
 胃腸病科
 皮膚科
 性病科
 花柳病科
門 專
院醫性病胃腸村松
 (番〇七一町南町平)
 療 間

難
内科一般
 醫學博士 **難波 睦**
 看護婦募集
 平町大町新川端
 電 五〇二
 院

新學期 **通學服**
 新學期が近づきました。
 可愛らしい 坊チャン 嬢チャンの
 通學服を豊富に取揃へて特價奉仕

● 黒 小 倉	1.20
● " (特製)	2.30
● 紺 金 卸 服	3.60
● 紺 K O 型	4.00
● 第二・第三・制服	3.60
● 紺 セーラー	2.60
● 防 水 マント	1.20
● " (裕)	1.65

平三 **ふかや洋服店** 電243